

公民館館報

# いんぎらあと

公民館館報 第57号  
西南部公民館  
編集 広報部  
TEL 240-8860 FAX 240-8960  
(E-mail)  
seinanbu-k@spacelan.ne.jp



## ■CONTENTS

- チカモリ縄文まつり、学習会
- チカモリジョンガラ踊りの夕べ
- 南部ソフトボール、ソフトバレーボール大会
- 公民館の学級活動の様子
- 役職員研修、消防訓練
- 町連専門委員会報告
- 持タネ西南部

笑顔いっぱい！千カモリ縄文まつりに参加して

広報部副部長 武藤政行（新保本）

八月七日（日）、毎年恒例の千カモリ縄文まつりが開催されました。今回、土笛づくりの担当として参加しました。

当日は朝から真夏の日差しが降り注ぐ中、たくさん元気な子どもたちや親御さんが遊びに来てくれました。今年の新企画は、土笛、縄文ブレスレット、化石発掘ゲーム、埋蔵文化財収蔵庫ミニガイドツアーでした。

担当した土笛づくりでは、鳴らすのに少しコツがいります。「本当に音が出るのかな？」と恐る恐る吹いて、「縄文の音色」が流れた時には満面の笑顔、見ている方も嬉しくて笑顔になりました。子どもたちだけでなく、親御さんも収蔵庫ミニガイドツアーやイノシシ肉を使った縄文食試食と、様々な年齢層の方々に楽しんでいただけようです。弓矢体験、火おこし体験など恒例イベントも大好評で、たくさん笑顔に触れることができました。

スタッフとして参加して、西南部地区において千カモリ遺跡が如何に貴重な財産であるか再認識しました。このような大きなお祭りが開催できるのは、千カモリ遺跡があつてこそですね。昭和五十五年、巨大な環状木柱列が発見された当時、私は西南部中学校の生徒で、見学に来たことを今でも覚えています。あれから三十年以上の歳月が流れましたが、このような形で楽しませていただけたことに感謝しています。



西南部中社会部の皆さんの「一言感想」

・縄文食美味しかったので三回試食した。

浅井大輝

・説明がだんだん上手になった。岩瀬銀里縄文の暮らしや文化を学べた。田中悠都お客さんが楽しんでくれたよかった。

藤森慧斗

・小さい子が怪我しないように見るのは大変だったけど貴重な体験で楽しかった。

紙谷 蓮

・ガイドツアーに参加して縄文土器の知識を得ることができた。

安村仁陽

・小さな子どもたちに言葉を選んで話すのが難しかった。

田中優孔

・楽しんでもらえるような工夫をしたかった。

清水悠太

・しっかりお客さんに対応できた。

大谷地克弥

# 縄文土器作ったぞう!!

## チカモリ学習会

夏休みに入ったばかりの七月二十三日(土)、国史跡チカモリ遺跡再認識の一環として、陶芸の先生と縄文土器を作る学習会が開催されました。小学生と保護者、西南部中学校学生会部の皆さんを含め計四十名に参加いただきました。

第一部は金沢市埋蔵文化財センターの谷口宗治さんのパネルによるお話と本物の縄文土器に触れる体験でした。第二部は城北児童館、親子やきものクラブ講師、吉村安司さんによる粘土を使った土器作り。ほとんどの方が初めてという事でしたが、先生のユーモアあふれる丁寧な指導により、力作が完成し、皆さんとても満足気でした。

作った土器は、後日野焼きして手元に届きました。参加者の皆さん、暑い中、本当におつかれさまでした。

(澤田秋子)

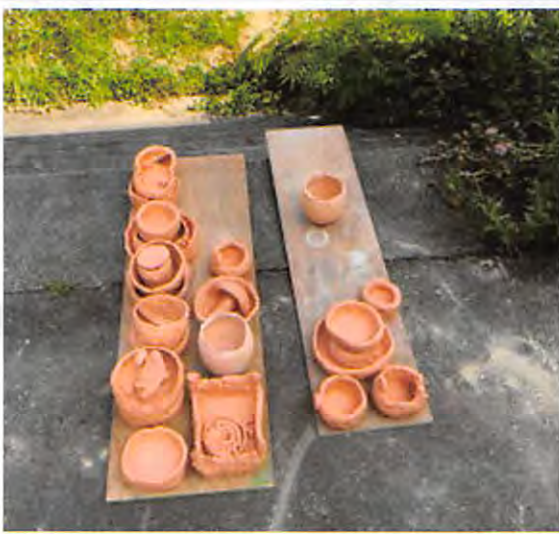


## 土器野焼き



チカモリ学習会で野外で作った縄文土器。七月三十日(土)に野焼きが行われました。現在はどこでも物を燃やす事ができないので、土器作りの先生をしていただいた陶芸家の吉村安司さんが勤める金沢市卯辰山工芸工房おしがはら工房で行いました。おしがはら工房は犀川小学校の分校だった建物を利用した工房で、ガラス工芸と陶芸の作家の皆さんが利用している施設だそうです。

野焼きは火力の調整が難しく、失敗すると作品が割れてしまうことがあるので、吉村先生は素焼きをした後で野焼きをしました。チカモリの収蔵庫を訪れたり埋蔵文化財センターで話を聞くなどして、



縄文土器らしく仕上がるように、ゆっくりと焼き上げるために、広場の草を刈り取り、生のまま火にいられて蒸し焼きのような状態を保ちながら縄文土器の風合いを出そうとしてくれました。

野焼きは、九時頃から土器をセツトしてもみながらとわらを重ね、その上に刈り取った草を置き、火力を出すための杉の枝を横に置き、火を入れ午後三時頃までかかりました。吉村先生は火力の調整をしながら、一から物を作り上げることの素晴らしさや、失敗から学ぶことの重要性を力説していました。縄文人も、土から土器を作り上げた。縄文人も、土から土器を作り上げたのかと思うと、今回の土器作りの体験は、まさに、縄文を体験する良い機会だったのでないでしょうか。

(脇坂弘明)



縄文食は貴重な体験だった。村尾優希  
弓矢の説明すると喜んでくれてやりがいがあった。吉田 泉  
小さい子も上手にできたので魚釣りはいいと思った。

向 健太

当日は弓矢づくりで教える側で頑張りました。和多利直生  
みんな楽しそうにしていたので手伝いをしてよかったです。橋田寛太郎  
ふわふわコアラは暑い中、安全を守るので大変だった。

山本瑞基

# チカモリジョンガラ踊りの夕べ 猛暑の中、広がる踊りの輪！

八月七日(日)、チカモリ遺跡公園で「チカモリジョンガラ踊りの夕べ」が行なわれました。この日は最高気温が三十三・一度で、踊りが始まる七時を過ぎても気温は下がらず、踊りが終わるまで三〇度を超える真夏日でした。夕方になると会場には浴衣姿の踊り手さんや校区の方たちが集まり始め、模擬店の準備も着々と進みました。婦人会の方たちが順番にやぐらに上がると、その周りに二重三重の踊りの輪が出来上がりました。小学校では運動会で「チカモリジョンガラ」を踊っています。

中には、大人顔負けの振りで踊っ



ている子もいました。小さい子どもたちが、大人の姿を見ながら手足を動かす微笑ましい姿があちこちで見受けられました。  
(脇坂弘明)



## 笑顔で交流

## 役職員研修会

六月十二日(日)、片山津温泉「ながやま」で役職員研修会が行われました。例年、体験や見学で研鑽を深めながら交流をしてきましたが、今年は、交流をメインに企画されました。

(脇坂弘明)

### チーム対抗ゲームで親睦

総務部長 安田貴幸(西金沢新町西)

六月十二日(日)に片山津温泉「ながやま」において公民館役職員研修会を開催し、四十二名の方にご参加いただきました。参加者は四つのチームに分かれてジェスチャーゲームなど五種類のチーム対抗ゲームに挑



戦しながら親睦を深めました。選手は額に汗を光らせ真剣な表情でチャレンジしますが、応援するみんなは数々の珍プレーにお腹を抱えながら声援を送っていました。

対抗ゲームの後はビンゴゲームを行いました。こちらも上位の豪華景品を目指して、みんな真剣な眼差しでビンゴカードを見つめています。

美味しい食事と気持ちの良い温泉だけでなく、みんなの溢れる笑顔のおかげで、とても楽しい交流会になったと思います。皆さんありがとうございました。



# 南部地区公民館対抗ソフトボール大会 激戦制し、第三位

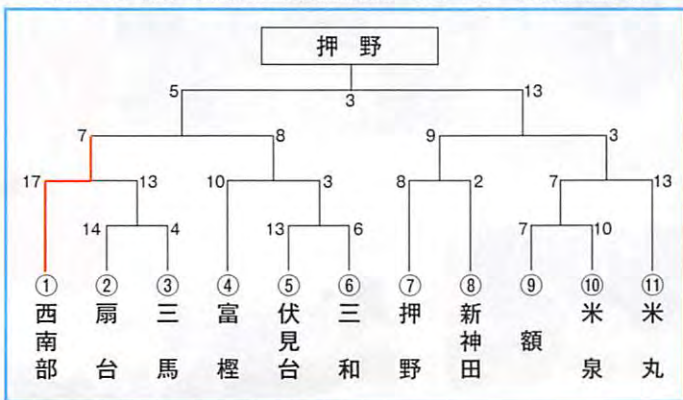


六月五日(日)、専光寺ソフトボール場で南部地区公民館対抗ソフトボール大会が行われました。各町会から選抜された選手たちが公民館のユニフォームを着て対戦します。西南部は、三馬公民館との対戦を制した扇台公民館と対戦しました。ホームランが何本も飛び出す打撃戦を制して準決勝へと駒を進めました。準決勝の相手は富樫公民館でしたが、投打がかみ合わずリードを許してしまいます。後半には打線が繋がりに、あと一歩のところまで追いあげましたが、惜しくも決勝進出はなりませんでした。

しかし、第三位という成績を収めることができました。選手の皆さんご苦労様でした。  
(脇坂弘明)



平成28年度 南部地区公民館対抗 ソフトボール大会結果表



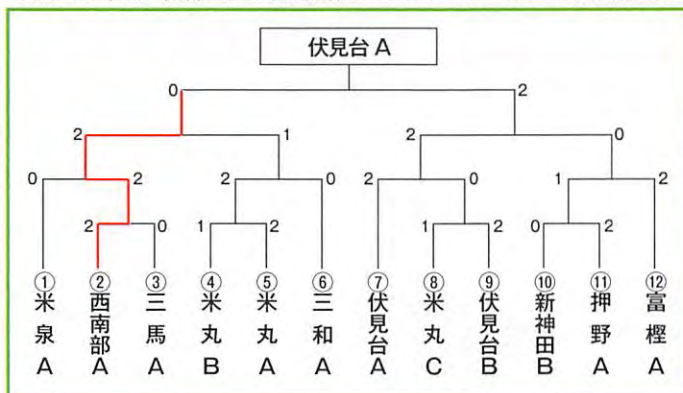
# 南部地区公民館対抗ソフトバレーボール大会 連覇逃すも見事準優勝



七月三日(日)、金沢市総合体育館で、南部地区公民館対抗ソフトバレーボール大会が行われました。西南部からは三チームが参加し、予選リーグの結果、Aチームが決勝トーナメントに進みました。決勝トーナメントでは、第一試合は三馬Aチームにセットカウント二対〇で圧勝。第二試合も米泉Aチームに二対〇で圧勝。準決勝で米丸Aチームと対戦し、第一セットを取られるものの第二セット第三セットを連取し、フルセットの末に逆転で決勝戦へと駒を進めました。決勝戦の相手は強豪の伏見台Aチーム。セットカウント〇対二で敗れ二連覇はなりませんでしたが、準優勝という輝かしい成績を収める事ができました。選手の皆さんご苦労様でした。  
(脇坂弘明)



平成28年度 南部地区公民館対抗 ソフトバレーボール大会結果表



公民館の学級活動の様子

テーブルマナー



カローリング



今知りたい世の中のこと



健康講話中高齢者の排尿トラブルについて



ノルディックウォーキング



法話(西定寺ご住職)



自転車マナー講座



ポリマークレイのアクセサリーブクリ



囲碁ボール



館外バス研修(YKK 黒部工場)



リーダ研修(イタイイタイ病資料館)



\*\*\*\*\*

女性学級

開催日	内容	参加人数
1 5月20日	開級式 今知りたい世の中のこと 講師行政書士 浜崎泰彦氏	50
2 6月24日	健康講話(3学級合同) ~おしっこのなやみ(仮題)~	51
3 7月 8日	テーブルマナーと館外研修	46
4 7月29日	音楽に合わせてダンス レクダンス講師:岡野ひでみ先生	37
5 8月19日	カラーコーディネイト(予定)	45
6 9月16日	個性を生かした作品作り	48

すこやか学級 校下にお住まいの60歳以上の方

開催日	内容	参加人数
1 5月13日	開級式 自転車マナー講座 地域サイクルマナー教室	58
2 6月10日	魚津水族館→しんきろうロード→ →YKK(黒部方面)	46
3 6月24日	健康講話(3学級合同) ~おしっこのなやみ(仮題)~	50
4 7月15日	グループ対抗 カローリング大会	33
5 8月 5日	法話(西定寺 住職)	48
6 9月 9日	雪の科学館他(加賀方面)	42

ヘルスアップ教室

開催日	内容	参加人数
1 5月 9日	開講式・体力測定・ミニ講話	36
2 6月 6日	ウォーキング&ノルディックウォーキング体験 講師:浜崎 泰彦 先生	33
3 6月24日	健康講話 すこやか・女性学級合同	30
4 7月11日	まなびい号利用:野外活動	27
5 8月 1日	ロコモティブシンドローム予防 講師:元橋 美津子 先生	31
6 9月 5日	ニュースポーツ等 講師:運動普及推進員	32

# 町連専門委員会報告

五月から六月にかけて、町会連合会では、地域の生活に密着した課題を解決する専門委員会が開催されました。



## 緑化美化委員会

### 「潤いのある校区(くわい)を」



委員長

大路孝之(新八日市出町)



私は、日本の自然の美しさを愛でる「春山万華の艶 秋山千葉の彩」という詩が好きです。こうした素晴らしい自然を後世に残していきたいものです。金沢市は昭和四十九年に「緑の都市宣言」をし、うるわしい自然を誇る「森の都金沢」を守り続けることを謳っています。

こうした中で、緑化美化推進委員長として二年目を迎えますが、今年度も委員の皆さんといっしょに、秩序あるゴミの出し方のマナーの徹底や公園の草刈り・ごみ拾い・落ち葉拾いなどに汗を流したいと思っています。活動は小さいものですが、美しく潤いのある地域づくりには少しも貢献できれば幸いです。人知れず、こうした美化活動に取り組みことに尊さがあり、活動の輪が金沢のまち全体に広がり、美しく、清らかで、気品のあるまち金沢になることを願っています。

## 防災委員会

### 「災害にそなえて」



委員長

加藤俊一(八日市出町東)



今年四月十二日、熊本地方を中心とした最大震度七の大地震が発生しました。テレビ報道で熊本城の石垣が崩れ落ちる様子を見て、二百年前に「加賀百万石を襲った大鯰」と形容される寛政の金沢大地震を思い起こしました。この地震は金沢城及び、中心市街地に多大な被害を生じさせた「都市直下型」地震であり、その規模はマグニチュード六・四、震度五・七といわれています。西南部地区は幸いな事に、各種災害のうち「崖崩れ」による土砂災害だけは想定しなくても良いと思えますが、地震災害は何時何処で発生するか分かりません。ほとんどの方は一日のうち自宅または職場にいる時間が最も多いと思われれます。その時、瞬時の確かつ冷静な判断と行動が重要です。

西南部公民館では五月から「ヘルスアップ教室」を開催しています。健康な毎日を過ごすために、寝たきりにならないために、の手助けとして、毎月のプログラムが組まれています。

## 健康推進委員会

### 「生き生き暮らせる健康(くわい)」



委員長

國分政夫(西金沢新町東)



五月三十日(月)、平成二十八年度の健康推進委員会が行われました。各町会から選ばれた健康推進委員の方々に委嘱状の伝達があり、健康推進委員の役割の話がありました。

(一) 健康作り意識を向上すること、病氣予防に役立つ生活習慣が身につく。

(二) 地域ぐるみで健康教室に継続的に取り組むことにより、元気な地域が形成されるとともに、地域の連帯感が醸成される。

(三) 教室を通して多くの人と知り合え、楽しい仲間作りが進む。

西南部公民館では五月から「ヘルスアップ教室」を開催しています。健康な毎日を過ごすために、寝たきりにならないために、の手助けとして、毎月のプログラムが組まれています。

日頃の健康維持に加え、生活習慣病を予防するために、「特定健康診査」や、ガンの早期発見のため「がん検診」を受診しましょう。

健康推進委員は、地域において市民一人ひとりの自主的な健康づくりを支援し、健康でいきいき暮らせる街づくりの推進を行います。

## 防犯・交通委員会

### 「犯罪を許さない町(くわい)」



委員長

高蔵捷一(新保本第二)



本年は委員二十五名で一年間活動します。「自分たちの町は自分たちで守る」という意識のもと、委員だけでなく地域ぐるみで、犯罪を許さない町づくりのために、工夫しながら活動を進めたいと考えています。

犯罪者が嫌がるのは住民の視線です。ゴミが散らかっていたり、落書きや空き缶のポイ捨てなど、自分たちの町に無関心だと犯罪者に狙われやすくなります。地域住民のパトロールや子どもの見守り活動などで、町に対する関心の高さをアピールし、犯罪の機会を与えないようにしましょう。

侵入に五分以上かかるとドロボウの七割が犯行をあきらめます。また、鍵のかかかっていないところからの侵入が依然多発しています。私自身も過去に二回被害にあつて大変な思いをしました。自分だけは犯罪に遭わないとは思わず、鍵をかけるなどしっかりと防犯対策をしましょう。



### 消防訓練



七月二十三日(土)、西南部公民館において、婦人防火クラブと合同で、定例の消防訓練が行われました。一階実習室から出火との想定で、全員、非常口から駐車場に避難しました。その後、水消火器を使った消火実習訓練として消火器の使い方を教わりました。

避難訓練に続いて、二階ホールで一般家庭における火災の危険に関する防火ビデオを全員で鑑賞しました。一つ一つの対策はあたりまえですが、事前の準備と落ち着いた行動が大切とのことでした。

今後も年二回、同様な消火訓練を行っていきます。  
(武藤政行)

### 特ダネ西南部

#### 子ども会連合会

#### お化けやしき



七月三十一日(日)、西南部公民館がお化けやしきになりました。

公民館から子どもたちの悲鳴が聞こえ、いつもと違った公民館になりました。

このお化けやしきは中学生が考えて準備をしたもので、参加した子ども達は怖がりながらも楽しんでいました。準備をした中学生たちも、子ども達の悲鳴を聞き、笑顔を見ながら楽しかったのではないのでしょうか。  
(脇坂弘明)

#### 「おばけ屋敷のお手伝い」



竹野菜々美(西金沢二丁目)

私は当日ヨーヨーつりの当番をしていました。そこでヨーヨーをつるためのこよりを作って、おばけ屋敷から出てきた子たちに渡していました。おばけ屋敷からは子供たちの悲鳴が聞こえました。そして中には泣いている子もいました。なのでも怖かったのだと思いました。

ヨーヨーつりに来た子たちは、ついさっきまで怖い思いをしていたはずなのに、とても楽しそうに笑っていたので、私も笑顔になりました。この企画はとても楽しかったので、また来年もやって欲しいと思いました。



#### 【編集後記】

記録的に雪が少なかった冬。水不足が心配されましたが、なんとか夏を乗り切れました。公民館活動も折り返し点です。後半も楽しい行事がたくさんあります。お誘い合わせの上ご参加いただき、地域の絆を深めましょう。  
(脇坂弘明)